表現技法 (2)

さまざまな表現

●**体言止め**…文末や句末を体言（名詞）で止める。
（効果）引き締まった印象を与えたり、余韻を残したりする。

・なんと美しい景色。（体言：景色）
・柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺（体言：法隆寺）（正岡子規）

●**倒置**…普通の言葉の並べ方から、語順を入れ替える。
（効果）主に後に置かれた言葉が強調される。

・どこまでも行こう。（普通の語順）
・行こう、どこまでも。（倒置）

●**対句**…言葉を、形や意味が対応するように並べる。
（効果）言葉にリズムが生まれる。

・兎追いし　かの山　小鮒釣りし　かの川（高野辰之「故郷」）
（兎追いし／小鮒釣りし：対句）

●**反復**…同じ言葉を繰り返す。
（効果）言葉にリズムが生まれ、内容が強調される。

・桜が散る。どんどん散る。吹雪のように散る。

●**省略**…文章を途中で止め、後の言葉を省く。
（効果）読み手に省略した部分を自由に想像させる余地を残す。

・「またいつか。」彼女はそう言い残し去っていった。

確認テスト

(1) 次の中から体言止めで**ではない**ものを選びなさい。

ア ぽっかりと浮かんだ白い雲。
イ おーいと呼ばれて振り向く私。
ウ 流れていくよ、桜の花びらが。
エ 窓から見える真っ青な空。

〔　　〕

(2) 次の中から倒置についての説明を選びなさい。

ア 語順を入れ替える表現技法。
イ 文末を体言で止める表現技法。
ウ 言葉を省く表現技法。
エ 同じ言葉を繰り返す表現技法。

〔　　〕

(3) 次の中から、対句の表現技法が使われているものとして適当なものを選びなさい。

ア かすかに聞こえる波の音。
イ 青い空が広がり、白い雲が流れる。
ウ 歩いても、歩いてもたどり着かない。
エ 川が流れる、ゆっくりと。

〔　　〕

(4) 次の各文の表現技法として最も適当なものを、それぞれ選びなさい。

① 同じ言葉を繰り返して、内容を強調し、リズムを生む。
② 言葉を途中で止めて後を省き、読み手に想像させる。
③ 普通の言葉の並べ方から、語順を入れ替える。
④ 言葉を形や意味が対応するように対に並べる。

ア 倒置　**イ** 対句　**ウ** 反復　**エ** 省略

① 〔　　〕 ② 〔　　〕 ③ 〔　　〕 ④ 〔　　〕